

【2024年4月 月間予定表 一修学院校】



4月の予定

1	月	●
2	火	休校日
3	水	●
4	木	●
5	金	● 春期講習修了
6	土	実力テスト(小3~中2) ・受験は希望制です。 ・小6SRにはご案内いたしません。
7	日	●
8	月	●
9	火	●
10	水	● 第1回中3V模試 ・中3生は全員受験いただきます。
11	木	●
12	金	●
13	土	開校日(高1生WAYS模試)
14	日	●
15	月	●
16	火	休校日
17	水	●
18	木	●
19	金	●
20	土	休校日
21	日	●
22	月	●
23	火	●
24	水	●
25	木	●
26	金	●
27	土	休校日 ※全校、休校日です。
28	日	●
29	月	●
30	火	● 5月8日(水)から、ゴールデンウィーク明けの授業が始まります。

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【2月度のMVP】

●新高1生のみみなへ

私立高校合格おめでとう!!!

みんなの今まで頑張った成果が実った瞬間でした!!新高1生全員がMVPです!!高校生になってからが勉強は本番!!高校生活を楽しみながら勉強も怠ることがないように!!継続は力なり!!!

4月行事について

●中3V模試.....
受験生初の模試。偏差値・志望校判定・教科毎の弱点分野・各種データも充実です。

【100で生きる】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

20代。真っ直ぐ正面だけを見て、懸命に仕事と向き合いました。結果、気が付けば、組織の頂点に立っていました。

30代。ブレはじめました。自身にいちよまへの教育観・教育論を持ち始めました。それは会社と大きくかけ離れたものでした。

2年後、世間の荒波に挑みました。ゼロから...いや、マイナスからの出発でした。でも、自身を貫くことは、とても心地のよいものでした。

40代。現在。あの時のように、真っ直ぐ正面を見て、懸命に仕事と向き合っています。今まで見えなかったものが、ようやく見え始めました。

目をこらすほど、いろんなものが見えてくる。目の前のことに集中するほど、今まで見てなかったものの存在に気付く。見つかったものの数が、私が今まで見落としていたものの数。

.....

もし、赤ちゃんがしゃべることができたら...

「いつか君はね、立ち上がれるようになって歩けるようになるよ」と声をかけたら、赤ちゃんはこういうのではないのでしょうか。

「バカいっちゃいけない。ムリムリムリ。ハイハイだけでも精一杯なのに、立ち上がるなんて、絶対ムリ」(笑)

ハイハイしかできない赤ちゃんからしたら、立ち上がって歩くと、まるでサーカスでも見ているようなものでしょう。

でも、私たちはいまではこうして歩いています。

余計なことを考えずに、ただ、ひたすら、いまできることをやってきた結果、いつの間にか立ち上がり、いつの間にか歩き出し、いつの間にか走れるようになったわけです。

歩き始めたばかりの子どもを階段に連れて行くと必ず上へと上っていきます。

上りきったら下がります。すると、また上がります。それを延々と繰り返します。

もちろん手をつないでですが。

なぜ子どもは延々と階段の上り下りを続けると思いますか?

その一步一步が楽しいからです。

余計なことは考えない。目の前の一步を楽しんでいるからです。

その結果、こうして、歩けるようになり、走れるようになったのです。

多くの人は100あるエネルギーの半分以上も、余計なことに費やしているのです。

もし、100あるエネルギーを目の前のことに純粋に注ぐことができれば、100の力で人生を生きられます。

大切なのは、いまに集中する力です。

「我々が今日のことに気をつかえば、明日のことは神が気を使ってくれる」

(マハトマ・ガンジー)

いま、ここ。

それがすべて。

「やりたいことが見つかりません」と言う人は多い。

そんな人に対するヤマト運輸・元社長の小倉昌男さんの言葉はこうです。

「どこかに『好きな仕事』があるわけではない。目の前にある仕事を好きになれるかどうかだ」

小倉さんは恋愛も同じだと言っています。

「どこかに『理想の相手』がいるわけではない。現実の出会いの中でその相手を好きになれるかどうか」

いま、置かれた環境の中で、興味を持てる場所を探るのが、仕事が上手になるコツ。

いま、目の前の人のいいところに気付いてあげることが、人間関係をよくするコツ。

いま、この瞬間の中で、恵まれているところを見つけるのが、自分を幸せにするコツ。仕事も、恋愛も、人生も全部、それは一緒。

いま、置かれた環境の中から、自分に与えられたギフトに気付けば気付くほど

新しいステージが開けます。

はじめてみませんか。

足元のタンポポのかわいらしさに気付くことから。

塾長 山田 大介